

平成27年

雲南市議会9月定例会
一般質問通告一覧表

【一般質問日程 平成27年9月7日～9日】

平成 27 年雲南市議会 9 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ	
1	9/7(月) 午前 9 時 30 分～	16 / 堀江治之	一問一答	1, 2	11	9/9(水) 午前 9 時 30 分～	6 / 多賀三雄	一問一答	23	
2		7 / 細木照子	一括	2, 3	12		13 / 細田 実	一問一答	23～25	
3	9/7(月) 午後 1 時 00 分～	8 / 佐藤隆司	一問一答	3～6	13	9/9(水) 午後 1 時 00 分～	2 / 中村辰眞	一問一答	25～27	
4		17 / 小林眞二	一問一答	6～8	14		9 / 周藤正志	一問一答	27, 28	
5		3 / 原 祐二	一問一答	8～10						
6	9/8(火) 午前 9 時 30 分～	1 / 松林孝之	一問一答	10～13						
7		18 / 深田徳夫	一問一答	13～17						
8	9/8(火) 午後 1 時 00 分～	10 / 西村雄一郎	一問一答	17, 18						
9		15 / 堀江 眞	一問一答	18～20						
10		11 / 土江良治	一問一答	20～22						

平成27年雲南市議会9月定例会 一般質問通告一覧表

平成27年9月1日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	16	堀江治之 (一問一答)	1. 財政運営について 2. 雲南市「新暮らしの便利帳」について 3. マイナンバー制度について	(1)大規模事業である新庁舎の完成、雲南市立病院改築も一定の目途が立った。合併当初の「財政非常事態宣言」を乗り越えた今、これまでの財政運営を振り返り市長の所感を伺う。 (2)財政の健全化判断比率も徐々に改善されてきたが、現在大規模事業計画も多数発表されている。余裕のある財政状況でも無い現状下において、今後どのように各事業の推進と健全財政運営を構築されて行くのかその方針を伺う。 (1)庁舎の移転など合併当時配布された「暮らしの便利帳」の内容も見直す必要がある。「新暮らしの便利帳」ハンドブックの発行は考えられないのか伺う。 (1)マイナンバー制度導入の事務的準備状況はどのようになっているのか伺う。 (2)制度の内容について、十分に理解されていない。市民に対してどのような説明をされてきたのか伺う。 (3)今後の導入に向けたスケジュールを伺う。 (4)サイバー攻撃・ウイルス感染等による情報の漏えい対策はどのように対応されるのか伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 空き家対策について	<p>(1)空家等対策の推進に関する特別措置法が、本年2月26日に施行された。空家等対策計画を策定する考えはないのか伺う。</p> <p>(2)空き家解体撤去経費に対する助成金制度の導入、解体後の土地に対する固定資産税の減免措置の考えはないのか伺う。</p> <p>(3)空き家解体後の更地の売却を希望された場合に、台帳に登録し公共用地等に活用できるような土地登録制度の導入は考えられないのか伺う。</p>	
2	7	細木照子 (一括)	<p>1. 新しい「学習指導要領」の取り組みについて</p> <p>2. 小学生の生活習慣病について</p> <p>3. 異常気象に伴う、災害等の対応について</p>	<p>(1)文部科学省は「社会に開かれた教育課程を目指す」と言っている。今でも時間割は現状の教科でいっぱいだと言われ、小学校の教員は限界に近い取り組みをしていると聞く。学習指導要領は現場実態を充分理解した上でつくるべきだと思うが、国が示した学習指導要領の骨格案をどう受けとめたか考えを伺う。</p> <p>(1)香川県で昨年行った小学4年生の血液検査で、1割にのぼる子供に肝機能、脂質、血糖値異常があり、いわゆる「おじさん化」している事がわかった。全国的な調査を求める声もあるが、雲南市でも学校健診で血液検査等を実施する考えがあるのか。また、国・県へ制度化を働きかける考えはないか伺う。</p> <p>(1)今年の夏は、世界各地で気温が急上昇して、海外の報道機関は「前代未聞の熱波」と伝えた。日本でも多くの方が熱中症で救急搬送された、大雨や暴風の気候も極端になってきた。市民に災害等に備えた対策をしっかり伝える必要があると考えるが、どのように対応されているのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>4. 要支援・要介護認定者の増に伴う対応策について</p> <p>5. 有害鳥獣被害防止の「電気柵」の事故防止について</p> <p>6. 個人番号制度の情報管理について</p> <p>7. 「ふるさと住民票」制度について</p>	<p>(1)介護が必要な高齢者が増え続け、国民の20人に1人の割りだという。今後増加が見込まれる中、介護現場の労働力不足の対応について、市としてどのように対応策を進められているか伺う。</p> <p>(1)静岡県で電気柵による死傷事故が起きた。電気柵業者だけではなく、行政側としても市民に指導をされる必要がある。事故発生後の対応と今後の対応について伺う。</p> <p>(1)日本年金機構では約125万件の年金情報が流出した。個人番号制度では、情報の流出対策等は大丈夫だと見ているか伺う。</p> <p>(1)居住地とは別の自治体と結び付きを希望者に認める「ふるさと住民票」構想を、先月段階で全国で8市町村が発表した。実際には住んでいない人にも町づくりに参加してもらい、行政サービスが受けられるようにして、地方の活力を高める狙いがあるといわれる。雲南市ではこのような考えがないか伺う。</p>	
3	8	佐藤隆司 (一問一答)	1. 飛躍の10年に向けて	<p>(1)新庁舎の完成について</p> <p>①合併協議会からの最大の懸案事項であった新庁舎が完成した。市長の感慨を伺う。</p> <p>②まちづくりを進める新たな拠点を中心にした6町の一層の一体感醸成と今後の飛躍の10年につなげなければならないが、その考えを伺う。</p> <p>(2)新庁舎の活用について</p> <p>①市民の多くには、今なお、批判的な考えを持たれる方もある。新庁舎</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>の竣工式などに広く市民参加を促す工夫も必要だ。市民参加のイベントをする考えがあるのか伺う。</p> <p>②新庁舎は、市民の多くに親しまれ、利活用されることが重要だ。1階の「オモテ座敷」や2階のロク座敷は、休日、夜間のセキュリティを備えイベントや市民利用が可能な設計とされている。どのような活用策を考えているのか伺う。</p> <p>(3)組織機構の見直しについて</p> <p>①「雲南市人材育成基本方針」が平成20年8月に策定されている。その検証がどのように行われているのか伺う。</p> <p>②グループ制によるフラット化の推進の実績と評価を伺う。</p> <p>③職員提案制度は、近年、職員からの提案もない状況である。提案しやすい制度への見直しが必要であるとされているが、どのような検討がされているのか。</p> <p>④新庁舎が完成し、これまで以上にフラットな執務室の環境が整った。心機一転、心新たな意気込みで風通しのいい環境づくりに取り組む必要がある。市長と職員間で重要な行政課題等についての意見交換会などされているのか。</p> <p>⑤市長の施政方針がどれだけ職員に理解されているのか疑問だ。庁舎内で円卓会議等が実施されているのか。</p> <p>⑥地方創生が唱えられている今、地方の再生・地域の再生のラストチャンスである。「人口の社会増」に向けて大胆な施策展開を行うには、これまでとは違う取り組みをしていかなければならない。そのためにはまず、「内の改革」である職員の能力開発と確実な人材育成と人材活用が求められるが見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 観光戦略について	<p>⑦人口の社会増・地方創生の推進体制で取り込まれる3つのプロジェクトを進める上で、市の中堅・若手職員でチームを組み地域自主組織へ出かけ地域円卓会議等を実施する『市民活力再生プロジェクト』を立ち上げ、市民と行政の協働により市民力と職員力を高める取り組みができないか。</p> <p>⑧500名余の職員の能力を束ねてこそ100%、200%にもなる力につながる。市長のトップリーダーとして新たな職員へのモチベーションのマネジメントをすべきだが見解を伺う。</p> <p>(1)神話の国づくり（神話王国）について</p> <p>①一般的に歴史や文化、自然、食、温泉地などが観光資源と言われ、それらすべてを雲南市は持ち合わせている。その観光資源を『点から線へ、線から面へ』と広域的に連携し、周遊性を高めることが必要である中、トワイライトエクスプレス瑞風の停車駅が決定し、2017年から運行開始となった。「菅谷たたら山内」が「立ち寄り観光」に選ばれたが、今後、市としてどのような対応が考えられ取り込まれるのか伺う。</p> <p>②中国横断自動車道の開通により、国道54号と国道314号を一体とした活用策が重要だ。中国横断自動車道は「中国やまなみ街道」、国道54号は「出雲神話街道」の愛称がある。国道314号の愛称が必要であるとこれまでも求めてきたが、議論に値しないのかを伺う。</p> <p>③周遊性（面的）の観光戦略には雲南圏域の広域的な展開が必要であり、本市としては、強いインパクトのあるコンセプトを持ったまちづくりをすると共に、ストーリー性も必要である。「中国やまなみ街道」の中国地方で一番長い大万木トンネルを越えるとそこは神秘的な黄泉の国</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 積極的な財政出 動について	<p>「神話王国」に通ずる。神話の国づくり宣言をし、そうしたイメージのアドバルーンを打ち上げることが必要であると考えが見解を伺う。</p> <p>(1)建設工事の早期発注を繰越明許を絡めて年間発注の平準化を図っていく検討が必要ではと質問をした。その後の検討で取り組みが可能であるか伺う。</p> <p>(2)市民の負担を軽減すると共に建設業の事業確保を目的とした、私道の舗装や側溝等の排水施設工事などに対して、工事費の一部を補助する私道等整備補助金制度を新たに創設する考えを伺う。</p>	
4	17	小 林 眞 二 (一問一答)	1. 安倍政権の政策 について	<p>(1)アベノミクス政策について</p> <p>①8月13日の新聞報道で、全国知事アンケートで安倍政権の経済政策「アベノミクス」の効果について、約7割の知事が限定的な評価で、知事によっては「内需中心の中小企業までは行き渡っていない」など慎重な評価が目立った。円安の影響をめぐっては、地域によって明暗が分かれた。また、今後、中国経済の減速を新たな不安要素とする意見も出たとの記事であった。3年目に入り、アベノミクス効果について見解を問う。</p> <p>②昨年、3月の質問の答弁で、引き続き国や県に対して要望や、市独自の経済対策に努めるとの発言があった。今日までどのような対応をされてきたのか問う。</p> <p>③中国経済の不安要素について、先般のニュースで中国市場での株の暴落が世界に飛び火したとある。雲南市あるいは島根県における影響を問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 原発問題について	<p>(2)地方創生総合戦略について</p> <p>①第2次総合計画を基本として、「まち・ひと・しごとの創生」につながる事業や成果目標などを盛り込み策定された。雲南市総合戦略として必要に応じて見直しを進めながら、施策を推進すると理解している。半年が過ぎ、現状をどのように分析されているのか問う。</p> <p>②8月25日の新聞の特集において、雲南市の総合戦略について、見出しに「交付金優先、新しさ乏しく」「前計画の内容踏襲」とし、こうした手法に疑問の声も上がっているとあった。策定の意義が問われた内容であったが、この記事についての見解を問う。</p> <p>(3)今国会の最大の焦点である安全保障関連法案は、法案そのものの違憲性が問われている中、雲南市議会は慎重審議を求める意見書の提出、また多くの団体から法案の廃案を求める声明が提出されている。こうした中、9月末までの国会で安保法案は可決される様相を呈しているが、県民・市民の命にも関わる重大な法案である。改めて、現状での所感を問う。</p> <p>(1)九州電力の鹿児島川内原発1号機が再稼働した。原発の事故後の新規制基準の下では初めてのケースであり、国内の原発が全て停止してから約2年ぶりの稼働となった。</p> <p>今後、愛媛県の伊方原発など各地で再稼働への準備が進められている。島根原発の30キロ圏内にある雲南市としても、現状の流れをどのように理解し、今後対応されるのか問う。</p> <p>(2)島根原発では、8月5日に低レベル放射性廃棄物の処理設備に設置された流量計の点検漏れと記録の改ざんについて原子力規制委員会に保安規定違反と判断されたと発表した。中国電力の保安規定違反を指摘された</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 木次駅前商業施設について	<p>のは 2004 年度以降で、28 件目と新聞記事にあった。違反の程度はともあれ、中国電力の安全対策について見解を問う。</p> <p>(3) 島根県は、本年度、島根原発の事故に備えて策定した 30 キロ圏内の住民の広域避難計画を大幅に改定するという。2012 年 11 月に計画を公表してから改定に着手するのは初めてであるが、その内容と雲南市においてはどのような内容が係わり、変更があるのか問う。</p> <p>(1) 「サンチェリヴァ」の閉店後の再利用について、同じ業種を誘致し、しかも周辺には大型スーパーなどの既存店がある。営業環境整備に数億円を要する支援策は買い物弱者対策あるいは駅前の寂れ対策などを勘案しても、本来の企業独自の出店と違い不公平感がつる。将来的にも経営が厳しいと思われるが、他の利用方法がなかったのか。また、現在までの経過、開店までに至る整備費の内容について問う。</p> <p>(2) 出店にあたって、賃貸による経営は商圈の購買力流動によっては安易に撤退、閉店も考えられる。今後、消費者が長期に渡り安心して買い物ができるような賃貸契約となっているのか問う。</p>	
5	3	原 祐 二 (一問一答)	1. 市民バスについて	<p>(1) 公共交通機関に頼らざるを得ない交通弱者への対策は、これまでどのような対策と改善策を図ってきたのか。</p> <p>(2) 公共交通機関の利用率（利用者数）は、これまでの改善策により増加しているのか。</p> <p>(3) 市民バスの活用事業である、夏休みの小中学生を対象とした「ふるさと雲南キョロキョロ探検パスポート事業」は、市民バスのデマンド化により利用者の減少と行先の固定化が懸念されるが実態はどうか。</p> <p>(4) 市民バス（地域バス）のデマンド化によるメリットとデメリットを整理</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2.農地対策について	<p>し、改善策を検討しているのか。</p> <p>(5)地域バスのデマンド運行では、各町の中心部区域からデマンド運行区域、デマンド運行区域とデマンド運行区域の利用ができない。地域間の住民交流と観光資源の活用から改善策が必要ではないか。</p> <p>(6)地域バスのデマンド運行便を地域住民の限定運行とせず、全ての市民と観光客なども利用できるよう改善してはどうか。</p> <p>(7)現在の広域路線バスの運行では、各町の公共施設や市民病院、中心市街地への移動は利便性に欠ける。各町のバスセンター（拠点施設）を周遊する広域デマンド運行便を試行してはどうか。</p> <p>(8)運行路線や運行時間について、利用者のニーズ把握をするためバス車内へのアンケート葉書の配置及び毎年発行される市民バス時刻表（各戸配布の冊子）へアンケート葉書を印刷し配布してはどうか。</p> <p>(1)水田の耕作放棄地対策とその成果をどのように捉えているのか。</p> <p>(2)中山間地域等直接支払制度と多面的機能支払交付金制度において、更新された水田状況と2つの制度からの離脱水田への対策を考えているのか。</p> <p>(3)本市独自の中山間地域等直接支払制度（国の基準よりも緩やかな制度）を創設し、最低限度の水田管理による耕作放棄地対策（森林・原野化により農地利用が不可能な土地防止）を実施してはどうか。</p> <p>(4)米価の下落、鳥獣被害などで水田の荒廃は、今後も増加が懸念される。良質米の比率向上は、農家の安定した経営と水田の荒廃抑制に繋がるため、良質米の生産対策として色彩選別費用の助成をしてはどうか。</p> <p>(5)イノシシによる作物被害や水田の崩壊被害も水田耕作の意欲減退とな</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3.認知症について</p> <p>4. 結婚対策について</p>	<p>っている。捕獲推進と資源活用として有効であるジビエ活用事業は、広域的な市町の連携が必要ではないか。</p> <p>(1)認知症サポーターの養成は、今後の高齢化社会で非常に重要と考えるが、産官学民の取り組み状況はどうか。</p> <p>(2)市職員研修や学校での授業として認知症サポーター養成講座を行ってはどうか。</p> <p>(3)認知症患者への的確な支援をするため、認知症になる前に本人同意の登録制度を創設し、認知症患者であることが判断できるようにしてはどうか。</p> <p>(1)今年度の婚活・結婚の応援体制と事業の取り組み状況はどうか。</p> <p>(2)婚活・結婚応援体制は、現状で十分な体制なのか。</p> <p>(3)市長を会長とする雲南市婚活推進協議会を設立し、既存の応援組織や市民及び事業者等が一体となった結婚対策をしてはどうか。</p>	
6	1	松 林 孝 之 (一問一答)	1. 市内高校の魅力化について	<p>(1)島根県の公立高校入試制度が、現在の中学2年生が受験する2017年度から変更される。その中に、松江市内の県立普通高校3校の学区外入学枠を拡大するとある。本年度より大東・三刀屋の両高校で2クラス減があった矢先の制度改正であり、今こそ地方創生の観点からも「地元高校の魅力化」の手だてが必要と考える。</p> <p>①この制度改正が本市に与える影響をどのように考えるか。</p> <p>②近年の市内中学卒業後の進路は、市内と市外の普通高校、実業高校など、それぞれへの進学状況を伺う。</p> <p>③島根県においても、それぞれの高校の魅力化を推進するとされ、「しま</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 全国学力テスト について	<p>ね留学」として県外からの入学生を募集するとある。県事業と合わせ、本市の地方創生の独自事業として展開すべきでは。</p> <p>④他市町の県立高校では、立地自治体独自の事業により入学生が増加している現状がある。受入れの施設無くしては県外留学生をはじめ、市外からの受け入れは困難である。市内 3 高校の中で大東高校だけは寮がない。独自事業として設置すべきでは。</p> <p>⑤市内高校には、それぞれの特色ある教育カリキュラムや部活動があり、その魅力から入学を希望する生徒も少なくない。しかし、地理的要素から通学できない現状から志望校の変更を余儀なくされることもある。市民バスが「だんだんタクシー」へとシフトするなか、市民バスを市内外からの通学に適したダイヤへと変更してはどうか。</p> <p>⑥寮費の助成や、市民バスの定期券購入助成など、子育て支援サイドの事業も必要では。</p> <p>⑦ハード整備と共に、地域愛を育てる教育カリキュラムが必要である。高校の現場と連携し、中山間地域の未来をつくる「地域創造コース」を設置しては。</p> <p>⑧第 2 次総合計画の、保幼小中高の一貫したキャリア教育の観点からも、高校の魅力化は本市の将来を担う大事な人材の確保と育成の第一歩である。市長の見解を伺う。</p> <p>(1)小学校 6 年生と中学校 3 年生を対象の全国学力テストが平成 27 年 4 月にされ、その結果が 8 月 26 日の新聞報道等で発表された。残念ながら島根県は過去最低の順位であった。</p> <p>①全国平均を下回る県全体の結果に対して、本市の状況はどうであった</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 市内中心部と周辺部のまちづくりについて	<p>か。</p> <p>②以前、子どもの生活実態調査から、生活習慣と学力は大きく関係することが判明した。家庭との協働で家庭学習のあり方を検討すると答弁があった。どのような対策が講じられ、改善されたか。</p> <p>③先進自治体の事例に、地元ケーブルテレビを活用した「テレビ寺子屋」なる事業を展開され、家族で家庭学習の時間を共有されている実例もある。導入してはどうか。</p> <p>④本年度から始まったスーパーティーチャー制度の実施状況は。</p> <p>⑤これまでも、一般質問にあったが、日本語が分からないため日常生活において支障がある児童・生徒等への指導について、その後の検討状況を伺う。</p> <p>(1)都市計画マスタープランに基づく、中心市街地活性化基本計画(案)の第2回法定協議会の内容が示された。同時進行が必須の、周辺部のまちづくり事業について伺う。</p> <p>①官民挙げての「雲南の核」となる中心部のまちづくりを推進する中活事業であるにもかかわらず市民への周知が不足していて理解されていない。説明・周知をどう進めるか。</p> <p>②賑わいの創出が目的である中活は、交流人口・消費人口の増加が最大のポイントであると同時に、そこに生活の拠点を置き、周辺部への就労を促すことで定住地としても期待される。周辺部の企業に就労されている市外居住者も多い。移住促進事業を展開してはどうか。</p> <p>③それぞれゾーニングされた周辺部のまちづくりをどのように推進するのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				④周辺部市民の、生活の利便性確保の具体例が波多マーケットであり、とても有効な展開と考える。政策と福祉、更に地域商業の観点から、それぞれの地域の実情に沿った支援策が求められるが、地域自主組織や様々な団体と連携し、市内全域に推進すべきでは。	
7	18	深 田 徳 夫 (一問一答)	1. 成長戦略の取組みについて	<p>(1)人口増・少子化対策について</p> <p>①雲南市の将来目指す姿は、課題解決へ向けての挑戦と人口の社会増への挑戦である。総合戦略の将来像として一番大切な結婚対策が、「移住交流の推進」の中に、一行のみの記述であり積極性に欠けていると思われる。結婚対策についての市長の見解を伺う。</p> <p>②本年度予算は人口の社会増に向けて、新規・拡充事業として、結婚対策費が200万円を計上されているが、例年並みである。地方創生・総合戦略の目玉・拡充事業と言えるのか。また、今日までのこの事業の実績を伺う。</p> <p>③全国的に未婚化・晩婚化が進んでいるが、いずれは結婚をしたいと9割の方が答えている。出会いが少ないとのアンケート結果もある。以前のような紹介者には見向きもしないが、友人同士の紹介には前向きの傾向にある。行政が若い世代を5~6人雇用或は専門的に委託し、エンゼルハート・イン雲南などの明るいネーミングで組織化することで、若い世代のニーズにあった、結婚相談や出会いの場づくりなど積極的な取り組みをすべきと思うが如何か。</p> <p>行政は、情報の一元化・紹介に携わる人たちに対する報酬、教育研修、活動補助などの充実をすることが総合戦略であると考えが如何か。</p> <p>④地元企業との連携、広域(飯南・奥出雲町)連携は非常に大切であり、特に企業のトップ等の協力は不可欠である。企業連絡会等を活用する</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>考えはないか。また、一つの自治体に限定するのではなく、幅広い出合いの可能性を提供するという意味で広域連携は重要な視点であると思うが如何か。併せて、市民の声を吸い上げ施策を展開するために、マーケティングも必要であり専門的見地からの民間企業との連携と同時に、公募型のプロジェクトを立ち上げてこそ円卓会議が生きると思うが如何か。</p> <p>⑤近年離婚率が高くシングルマザー化を余儀なくされている方が多くなった。転居を考えているこの方々に対し、雲南市の住みやすさを売り込み人口増加に資するため、生活支援、住宅の斡旋、雇用対策などきめ細やかな政策を検討すべきと考えるが如何か。</p> <p>⑥国全体の人口が減少する中で、自治体間競争を勝ち抜くための対策が不十分である。転出を抑えるためには「住宅の購入」が重要と考える。思い切った補助金の充実、土地の低価格の斡旋等、きめ細やかな住宅政策をこれまで以上に講ずるべきであると考え所見を伺う。</p> <p>(2)スポーツ振興について</p> <p>①「新たなスポーツ文化」の確立が目指され、市でも、「スポーツ基本計画」が立てられた。推進計画では、「スポーツを生涯にわたり親しむ」「スポーツの安全性を確保する」「スポーツに係わる人材を確保する」この3つの視点としてまとめられているが、今後この「スポーツ推進計画」をどのように実践していく考えか伺う。</p> <p>②競技スポーツは勿論、生涯スポーツに求められるのは人材育成である。スポーツクラブがない木次・掛合・吉田への普及と対策及び既存のスポーツクラブの更なる育成と人材育成をどのようにすべきと考えてい</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>るのか。また、クラブ運営について会費制のみでは十分な指導普及が 厳しい状況であるが、推進計画の観点から支援の考えはないか伺う。</p> <p>③「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」事業で、 小学校においては、学校の小規模化などによる体育授業の質の維持な どの課題に対し、民間人の活用による地域での教育支援体制の強化な どの支援がおこなわれている。学校現場での要望も期待が大きいと伺 っているが、現場の評価と教育委員会としての評価は如何か。</p> <p>④この事業は、地域スポーツの底上げとトップアスリートをより専門的 に活用した競技力の向上も目指しており、地域の連携と多くの競技や 体育授業補助など幅広い好循環の活動が展開されている。このような 素晴らしい取り組みは継続性がなければ成果を挙げることはできな い。今後の事業の継続と支援について所見を伺う。</p> <p>(3)安心して過ごせる居場所について</p> <p>①6月に開所したキャリア教育推進施設温泉キャンパスでの児童・生徒 等の活動は、順調な滑り出しのようだ。3か月の成果及び子ども達が どのように活動しているか実態を伺う。</p> <p>②県内には多くの支援の活動法人などが存在し、雲南市でも「子ども家 庭支援センター」が設けられ相談窓口など充実してきた。「人の中にい るのは疲れる」「家にも居場所がない」などの青年たちもいる。県内 には多くの支援の活動法人などが存在する。雲南市でも、そこに行けば 安心して過ごせる空間・居場所づくりに併せて、一方では勉学に加え て就労支援ができる、サポートステーション設置の検討が望まれるが 如何か。教育委員会を超えるサポートとなるが、温泉キャンパスを含</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>めてソーシャルワーカー導入の考えはないか見解を伺う。</p> <p>(4)農業振興について</p> <p>①農業を取り巻く環境は、農家の高齢化、次世代の後継者問題、受け手を必要とする遊休農地や耕作放棄地の増加など雲南市の農業も緊迫を呈している。そんな中で、これらの課題を克服し、競争力のある農業や魅力ある農業を作り、農業の成長産業化を図ることが喫緊の課題である。農地管理機構が発足して2年、市内の登録や利用権設定はどのような状況か、また、集積・集約ができてきているのか伺う。</p> <p>②農地を所有できるものは、担い手、認定農業者、農業生産法人などだけに所有が認められ、一般企業は6次産業だけの参入しかできない状況である。より農地の流動化・集約を図るには企業が農地取得所有、或は期限限定の契約取得などができることが必要と思われる。雲南市特区などは考えられないか伺う。</p> <p>③担い手等が国県事業等を活用して経営多角化を積極的に展開推進していくためには、多額な資金を必要とする。先に説明があった雲南市集落営農組織等ステップアップ支援事業は、先進的な取り組みを支援するものである。要綱では予算の範囲内となっているが、先進的な事業であれば更に上乗せ支援すべきである。これに限らず農業を守るためにも、また、競争を勝ち抜く農業を実現するためにも、農業振興の補助要項などしっかり精査し、ステップアップの支援をする考えはないか伺う。</p> <p>④災害や高度圃場整備などにかからない、小規模な農地修繕などに市単独事業がある。この事業は小規模で零細な中山間地の農地の荒地防止</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				などに大切な施策である。補助率アップとなれば活用は拡大すると思われるが、補助額を3分の2まで引き上げる考えはないか。	
8	10	西村雄一郎 (一問一答)	1. 女性の社会進出 について 2. 2015年学力テストと学力向上について 3. 地域自主組織との協定について 4. 公営住宅の改善について 5. 公の施設の運営について	(1)市政懇談会で意見が出た女性が出やすい会議とは、どう考えるか。 (2)イクボス宣言についてどう進めていくのか。 (1)島根県の結果が公表され総合順位が過去最低であった。雲南市の結果はどうであったか。 (2)松江市では学校別に成績が公表されることになっており、特に異論は無いという。雲南市は、学校別等公表しないのか。 (1)協定締結の進行状況、内容はどうか。 (2)地域の均衡発展に資する内容か。 (1)公営住宅長寿命化計画は、予定通り進行しているか。 (2)長寿命化計画を前倒し実施できないか。 (3)超高齢社会が到来している。手すりのみならずエレベーター設置の展望はあるか。 (1)本年度公の施設の見直し計画を立てることになっている。進行状況は。 (2)一定の決断が必要と思うが、その基本的考え方はどうか。 (3)市民及び議会へは計画をいつ示すのか。 (4)地元、指定管理者等、利用者等への説明の基本的姿勢はどうか。 (5)アスパルの暖房が効かせられないのは、予算の制約があるからと聞くがどうか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			6. 旧サン・チェリヴァの後継スーパーの市場における公平性の確保について	<p>(1)旧サン・チェリヴァの後継スーパーが無料で駐車場を使用するのは、過剰な便宜供与で、同業他社の経営を不当に圧迫することに、行政が手を貸すことになる。逆に進出スーパーに不当に利益を供することになる。駐車場について適正な賃貸価格を設定すべきだ。</p> <p>(2)商業スペースの家賃が、指定管理者の人件費等運営費で足りるとすれば、この家賃が市場価格とかけ離れ不当に安く設定されかねない。正当な競争が損なわれかねない。家賃についても適正な賃貸価格を設定すべきで、そのルールを明らかにすべきだ。</p> <p>(3)上記疑念の払拭のための方策を問う。</p>	
9	15	堀 江 眞 (一問一答)	1. 観光振興策について	<p>(1)トワイライトエクスプレス瑞風の菅谷立ち寄りのニュースはうれしい報告だった。</p> <p>①瑞風が菅谷高殿に求めるものは何か。決定までの経過を伺う。</p> <p>②滞在時間、町内町並みを歩く時間は有るのか。またトイレの整備、ガイドの体制、外国人に対する対応、歓迎セレモニーなど、地元としてなにをしなければならないのか。</p> <p>③列車内で使用される食材は地元調達されると聞く。準備が必要ではないか。</p> <p>④みやげ物、飲み物を販売するショップも当然必要と思うが考えは。現時点での思いを伺う。</p> <p>(2)雲南圏に唯一存在するゴルフ場の振興・活用策について伺う。高速道効果で市外、県外からの客も増え今後も更に増加が期待できる。地元雲南市として支援・活用していくことが必要ではないか。</p> <p>①ゴルフは、ポピュラーなスポーツではないという依然として一面冷ややかな論もある。市長はゴルフについてどのような見解をお持ちか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 有害鳥獣対策について	<p>②ゴルフ場利用税がgolferから徴収されている。消費税と二重課税ではないか。また健全な大衆スポーツから税金を取るべきではないとの批判がある。市長の考えを伺う。</p> <p>③ゴルフ場利用税の7割が雲南市に収入されている。増客を図るため一部還元も必要と思う。奥出雲町の全米オープンや川本町のエゴマオープンなど開催されている。地元市として健康増進・増収対策として積極的に活用策を講ずるべきと思うが見解を問う。</p> <p>(3)清嵐荘の改修計画について伺う。</p> <p>①現在、プロポーザルが行なわれている。実際に運営に関わる事業者も計画段階で参画すべきと思うがいつ指定管理者が決まるのか。</p> <p>②29年度、30年度は休業することになっている。従業員はどうなるかと心配されている。市としての考えは。</p> <p>③清嵐荘前の旧松林公園は、現在原野になっている。建築後に考えるとのことだが、清嵐荘の大きなセールスポイントだ。工事時期は別にして、計画は同時に立てるべきと思うが考えを伺う。</p> <p>④浴室も一緒に休業するのか。泉源管理上からも継続が望まれる。</p> <p>(1)人口減と空き家の増加により有害鳥獣が集落に侵入してきている。最近の有害鳥獣の増減、被害の実態を伺う。熊の目撃状況も頻繁になった。熊の現状と注意事項の概略を伺う。</p> <p>(2)空き家周辺の山林や河川周辺の雑木林がイノシシの住処となっており減少しつつある近隣耕作者にとって深刻な問題だ。関係者の高齢化が進む中、少数の地権者で対応することは至難である。集落維持、再生の観点から河川保護、鳥獣被害対策、木材活用、公共工事減少対策などあら</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 中学校の適正規 模適正配置につい て	<p>ゆる面から支援策を検討していただきたいが考えを伺う。</p> <p>(1)中学校の統合について対象となる3校について協議が整えば統合すると答弁されている。協議の進め方を問う。</p> <p>①該当校3校のうち吉田中学校が30名程度と特に少ない。この状態を教育委員会としてどのように考えているのか。</p> <p>②教育委員会が主体となって進めるべきと言う質問に「今後も協議をしていきたい」と答弁されている。どこを窓口にして協議されるのか。</p> <p>③小・中一貫校も選択枝と答弁されたがメリットは何か。</p> <p>④統合先の選択枝も一つではない。統合先に制約はあるのか。</p>	
10	11	土江良治 (一問一答)	1. 「農地中間管理 機構」(農地バンク) の初年度活用実績 及び平成27年度の 現状について	<p>(1)事業初年度の活用実績は。農水省が公表したところによると、目標の20%に留まっている。その原因として農地の貸し手側の理解が深まらず、集約する農地が十分集まらなかったことが主因としていた。雲南市の状況を伺う。</p> <p>①これまでの貸し手及び借り手の相談件数。うち、両者の成就件数及び面積。</p> <p>②条件不利農地のため、借り手が不在で受理がなかった件数及び面積。</p> <p>③条件不利農地に対し、行政が耕作条件の改善(補助事業)を促した件数及び面積。うち、改善された件数及び面積。</p> <p>④①～③で浮び上った課題をどう受けとめ、どう対応していくのか。</p> <p>⑤平成27年度の現在の農地集積状況は。</p> <p>(2)法人メンバーの病気等による離脱に伴い、利用権設定契約切れを機に受託面積を縮小するケースが発生している。</p> <p>先行き不透明なTPP、米価下落の現状から借り手も苦しいと思う。少</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 稲作の省力化に向けた乾田直播の積極的な推進について</p> <p>3. 兼業農家に向けた支援策について</p>	<p>しでも耕作放棄地発生防止をするために、集約実績を上げなければならぬ、私は以下の考えを述べ、所見を伺いたい。</p> <p>①貸し手の協力金（2万円～3万6千円/10a）を無償でいいではないか。</p> <p>②畦畔の草刈や水管理はすべて貸し手の責務とする利用権設定でいいではないか。</p> <p>③上納代は無くてもいいではないか。</p> <p>(1)米を取り巻く環境は年々悪化し儲からなく、その対価がない。今年も猛暑による品質低下が懸念され、このことは耕作放棄に直結する。いま春作業の省力化、コストの削減の切り札として、乾田直播が注目され右肩上がりに広がっている（全国農業新聞）。今年も米価低迷対策として1ha当たり5万円の助成があり、更に大幅な拡大が見込まれる。この直播が積極的に推進ができないか伺う。</p> <p>①市内における現在の実施状況は。</p> <p>②積極的な規模拡大が出来ない理由があるとすれば、それは何か。</p> <p>③いま全国的に酪農家の廃業に歯止めがかからないという。飼料用米に展望はあるのか。</p> <p>(1)現在、兼業農家は農業外の収入を注ぎ込んで農業を支え、国土と自然環境を守っている。農地集積が困難であり、リーダーの不在により中山間地域等直接支払事業集落協定も解消される地域もある。</p> <p>県道、市道下の田圃所有者は、道路の法面の草刈りも自主的に無償でやっていたが、体力的にもボランティアには限界がある。業者委託か、地</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>4. 凶悪犯罪及び徘徊認知症対策としての防犯カメラ設置について</p> <p>5. 国県の助成制度の上乗せ支援について</p>	<p>域に委託できないか伺う。</p> <p>(1)自動車道開通で凶悪犯罪の広域化が心配され、防犯カメラの設置は必須となってきているように思う。また、徘徊が心配される認知症の方は年々増加の見込みである。このような現状下、本市でも安心して暮らせる環境維持が急務ではないか。次を伺う。</p> <p>①雲南市内に防犯カメラは何台設置されているのか。</p> <p>②石川県かほく市並み（防犯カメラ設置を対象とした助成制度創設及び、巡回する市営バスへのドライブレコーダーの取付け）の制度の創設はできないか。</p> <p>(1)定住促進に各自治体はしのぎを削る中で、国・県の助成制度に上乗せ支援又は独自に政策を展開がされている。国・県の制度以上の支援をすることにより、補助金などへペナルティーが生じることがある。</p> <p>①雲南市が国・県の制度以上の上乗せ支援をしているのはどのようなものがあるか。（子ども医療費、不妊治療等々）</p> <p>②上乗せすることにより、必要以上に大きな財政負担となっているケースはあるか。あるとすれば、その額はどれぐらいか。</p> <p>③この罰則は地方版総合戦略、少子化対策遂行の障がいになると思う。これら国・県にペナルティーの緩和、また新たな制度の創設を求めているものがあるとしたらそれは何か。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1 1	6	多 賀 三 雄 (一問一答)	1. 不登校・ひきこ もり対策体制につ いて 2. 道路の維持管理 について 3. マイナンバー制 度（国民共通番号制 度）について	(1)不登校・ひきこもりに対して、だれが、どのようなことをしているか。 (2)「対象者は市民・青少年全体から見ればごく少数である。それにお金・ 人をつぎ込みすぎているのではないか」という声にどう答えるか。 (3)人員を増やして対象者への対応を余裕をもってできるようにすべきで はないか。 (1)人口減少・高齢化によって地区内の道路の整備が住民だけではできなく なっている地区が出だしている。市が対策をとるべきではないか。 (1)マイナンバー制度の概要を伺う。また、市は導入の目的をどのように認 識しているか。 (2)将来、どのような分野への拡大を想定しているか。 (3)住民・事業者にとって良い点と負担はどんなことが考えられるか。 (4)市にはどんな負担があるか。 (5)情報流出、不正取得、偽造、なりすましなど、どんなことが懸念されて いるか。 (6)それらの懸念に対して100%対応できるか。 (7)中止すべきとの声をあげるべきではないか。	
1 2	1 3	細 田 実 (一問一答)	1. 平和行政につい て	(1)国会ではほとんどの憲法学者、また元内閣法制局長官が憲法違反とする 安保関連法案の審議が行なわれている。また、集団的自衛権行使の要件 とされている「わが国の存立が脅かされる事態」の想定も疑問視されて いる。また世論調査でも反対又は今国会で成立させるべきでないが多数 だ。国民理解なく数を頼んで強行に法案を通すことがあってはならない と考えるがどのように考えるか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 人口増対策について	<p>(2)安倍内閣は従来の「武器輸出三原則」に変わる「防衛装備移転三原則」を昨年決定、オーストラリアへの潜水艦輸出(共同開発)の商談にも乗り出している。また、重要影響事態法案では弾薬の提供も可能にするなど「死の商人」を作り出すのでは考えるがどのように考えるか。</p> <p>(3)安倍内閣は武力によってしか平和は守れないと考えているようだが、そうではないことを歴史が証明していると思うがどのように考えるか。</p> <p>(4)雲南市としてアジア諸国の人々を中心とする交流、平和行政の推進をさらに進めていくことが必要と思うがどのように考えるか。</p>	
			3. 子どもの貧困対策について	<p>(1)総務委員会で先進自治体視察を行なったが、人口増、定住には地道な福祉の取り組みが重要であるとの認識を新たにした。どのように考えるか。</p> <p>(2)また、「どこに住むかは最終的に女性が決める」との言葉から女性の視点でのまちづくりの重要性も感じた。定住対策に女性の視点を取り入れる体制をとるべきではないか。</p>	
			4. 雲南市で開催の集会、大会の支援について	<p>(1)子どもの貧困が問題となっている。平成25年の国民生活基礎調査で「子どもの6分の1が貧困状態にある」とある。平成26年に子ども貧困対策法が施行され、今年3月に島根県は「島根の子どものセーフティネット推進計画」を作った。雲南市の現状と今後の対策を伺う。</p> <p>(1)松江市はコンベンション開催支援補助金制度をつくり集客、宿泊客の増を図っている。雲南市は、ラメール、アスパル、大東公園体育館など集客能力のある施設がある。また、雲南広域連合では来年度予定の「生き</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				物文化誌学会しまね雲南例会」(ラメール、200名規模)に助成をしたいとの提案(来年度に制度、予算提案と思われる)があつている。雲南市もこのような助成制度(宿泊、観光を促す条例、要綱など)をつくり積極的に会議、大会の誘致を行ない、文化の発信、交流人口拡大、地域経済の振興を図る考えはないか。	
13	2	中村辰真 (一問一答)	1. 日本版CCRC について 2. 障がい者雇用に ついて	(1)6月4日に日本創成会議の増田座長は記者会見において「このままでは、高齢化によるニーズ急増で、東京圏では介護・医療が行き届かなくなる恐れがある。介護が必要になる前に地方に移住する『日本版 CCRC』の推進が、その有力な対策になるだろう」という認識を示した。 ①日本版CCRCとは何か伺う。 ②雲南市はCCRC構想に対し取り組む姿勢を示しているがその理由を伺う。 ③第2次総合計画及び総合戦略で目指す「プラチナ社会」とCCRCの関係性を伺う。 ④雲南市におけるCCRCのメリット、デメリットは何か伺う。 (1)出雲養護学校雲南分教室が本年度開校した。今後の課題として卒業後の就労がある。雲南市としても障がい者の雇用に対して取り組みを強化する必要があると考える。市の法定雇用率達成状況等について伺う。 ①市役所における法定雇用率は2.3%。実雇用率は2.20%である。達成されていない理由及び今後の取組みについて伺う。 ②教育委員会における法定雇用率は2.3%。実雇用率は2.08%である。達成されていない理由及び今後の取組みについて伺う。 ③市立病院の法定雇用率は2.3%。実雇用率は2.87%である。達成に向	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. トワイライトエクスプレス瑞風について	<p>けてどのような取り組みがなされたのか、院内でどのような職種に従事されているか伺う。</p> <p>(2)来年度の市役所職員募集に際して障がい種別は身体障がい者だけである。精神障がい者、知的障がい者に対する募集をする考えはないか伺う。</p> <p>(3)市は、H25年4月の障害者優先調達推進法施行に先駆けて、信書便の取り組みを始めた。施行から2年が過ぎたが、事業の拡大等現在の状況を伺う。</p> <p>(4)10月に開所する雲南市新庁舎内に、作業所で作られた物品等を販売できるスペースは確保されているか伺う。</p> <p>(5)市内で障がい者雇用を推進していくためにも、市としても障がい種別毎の雇用人数の目標を明確に立て取り組むべきである。民間企業に対して行政がきちんと姿勢を示す事で市内の障がい者雇用の拡大につながると考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)6月18日に平成29年度運航を開始する「トワイライトエクスプレス瑞風」の運行コースと立ち寄り駅(宍道駅停車)が発表された。併せて雲南市内の観光先として「菅谷たたら山内」が示された。この発表に対する所感を伺う。</p> <p>(2)吉田町ではこの発表の後、観光振興に対しての盛り上りを見せていると聞く。雲南市内が「菅谷たたら山内」だけではさみしい限りである。官民共同で雲南市の魅力を見るルート設定の必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>(3)多くの観光客誘致を念頭に置くと、多様化するニーズにこたえる努力が必要となる。観光庁の「ユニバーサルツーリズム」という事業がある。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 雲南市の歌について	これを活用し市内の観光地の整備に取り組むことができないか見解を伺う。 (1)雲南市の歌は「公式の場で歌うようにする」との答弁があった。今までに公式の場で歌われたことはあるか、詳細を伺う。 (2)8月に行われた成人式は、雲南市の歌を歌う好機と考えていたが歌われなかった。予算をかけて作成した歌である。積極的に歌うべきと考えるが見解を伺う。	
14	9	周藤正志 (一問一答)	1. 中心市街地活性化事業について 2. 6次産業化拠点施設の整備について	(1)基本計画(案)では、JR木次駅前整備事業が内容的に不十分である。駅前商業棟の再開に目途が立ち、JR木次線の中心駅でもあることから、単なる駐車場やロータリー・サインの整備だけでなく、木次駅舎の整備も含めて周辺全体を一大拠点とする再開整備をすべきだ。 (2)この事業は、市の浮沈にかかわる大事業である。大型事業が続く中、財源確保と民間活力を引き出せるかが大きな課題だ。果たして実現可能なのか。 (1)大型事業が続く中であって、6次産業化施策の推進は理解できても、新たなハコモノ事業として取り組む必要性はない。中心市街地活性化事業における物産館等の施設に取り込んで行うべきである。 (2)計画されている木次道の駅については、隣接する「ふるさと尺の内公園」との連携や、ソフト面(イベントなど)の充実を図り集客増を目指すべきだ。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 地域産業を知る 取り組みについて	<p>(1)米子市では、「大人達の社会科見学」が人気のようだ。ほとんどの市民は地元の企業を知らないことから、企業の協力を得て、子ども会、自治会、若者会、自主組織、PTAなどを対象に地元の企業見学ツアーをしたらどうか。</p> <p>(2)新商品の開発支援事業を利用してH22年度からこれまで約60件の商品が生み出されているが、一部を除いてほとんど知られていない。PRがあまりに不足しているのではないか。</p>	
			4. 市内の高校支援 について	<p>(1)大学や専門学校のない本市にとって、高校の存在意義・重要性は極めて大きい。他自治体では積極的に高校支援を行っており、本市も総合計画の中へきちっと位置づけて取り組むべきだ。</p> <p>(2)市民バスを利用している高校生も多いが、利便性に欠けている。学校行事や部活動に配慮したバス運行にすべきだ。</p>	
			5. 総合的な学力向 上の取り組みにつ いて	<p>(1)全国学力テストで島根県は過去最低であった。学力向上にどのような対策を講じているか。</p> <p>(2)「自立した社会性のある大人への成長を目指す」キャリア教育にそって、新聞等のニュースを素材にしたメディアリテラシー教育を進めるべきだ。</p>	